

# 水稻作況試験情報 【令和5年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（成熟期）

移植期以降、最高気温は、6月4、6半旬、7月2半旬～8月1半旬、8月4半旬～10月1半旬でかなり高く、最低気温は6月5半旬～9月6半旬で高く推移した。降水量は平年より6月4～5半旬、7月3半旬～8月1半旬で少なく、8月2～5半旬で多く推移した。成熟期は、コシヒカリは1日、おいでまいは2日早く、ヒノヒカリは平年並みであった。成熟期調査では、過去5か年の平均値より稈長は3品種ともに長く、穂数は多かった。穂長は、コシヒカリは長く、ヒノヒカリ、おいでまいはほぼ平年並みであった

## 1. 作況試験の方法

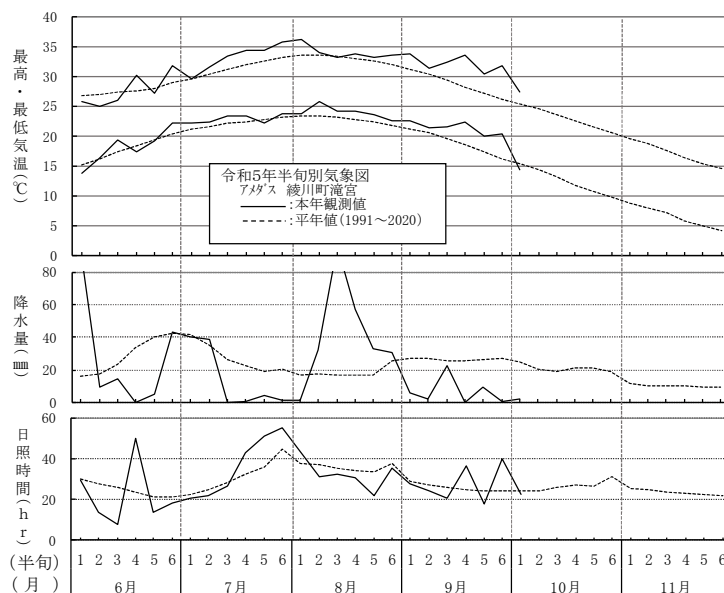
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：6月1日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5株/m<sup>2</sup> (30cm×18cm)、1株4本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後1株4本に調整した。
- 5) 本田施肥 (N成分kg/a)

	基肥	穂肥 I	穂肥 II
コシヒカリ	0.3	0.15 (7/30)	0.10 (8/5)
ヒノヒカリ	0.5	0.25 (8/9)	0.15 (8/15)
おいでまい	0.5	0.25 (8/12)	0.15 (8/19)

- 6) 使用肥料：化成肥料 (N:P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>:K<sub>2</sub>O=14:10:12%)
- 7) 1区面積及び区制 1区250m<sup>2</sup> (コシヒカリ500m<sup>2</sup>)、2反復

## 2. 具体的データ

令和5年産水稻 気象表 (10月1半旬まで)



※6月1半旬の降水量は、94.5mm  
8月3半旬の降水量は、96.0mm

令和5年産 水稲作況試験生育調査結果(10月5日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい		
		本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)	本年	過去5か年 平均値	差(比)
移植時	草丈(cm)	15.5	15.4	0.1	12.1	12.2	▲ 0.1	11.1	11.7	▲ 0.6
(6/20)	主稈葉数(枚)	2.4	2.5	0	2.6	2.6	0	2.5	2.6	▲ 0.1
田植20日後	草丈(cm)	41.1	40.0	1.1	32.9	32.2	0.7	34.5	33.1	1.4
	(7/10) 茎数(本/m <sup>2</sup> )	256	233	10 %	356	264	35 %	367	300	22 %
田植30日後	主稈葉数(枚)	7.3	7.4	▲ 0.1	7.8	7.6	0.2	8.2	7.8	0.4
	草丈(cm)	56.0	58.0	▲ 2.0	49.2	48.9	0.3	49.2	48.1	1.1
(7/20)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	482	477	1 %	658	529	24 %	658	633	4 %
田植40日後	主稈葉数(枚)	9.7	9.7	0	10.3	9.8	0.5	10.3	10.1	0.2
	草丈(cm)	72.7	76.5	▲ 3.8	69.4	69.1	0.3	67.6	68.4	▲ 0.8
(7/30)	茎数(本/m <sup>2</sup> )	503	513	▲ 2 %	704	593	19 %	780	729	7 %
	主稈葉数(枚)	11.1	11.1	▲ 0	11.9	11.3	0.6	12.1	11.9	0.2
播種期(月/日)		6/1	5/30	1	6/1	5/30	1	6/1	5/30	1
移植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20	6/20	0
幼穂形成始期(月/日)		7/24	7/27	▲ 3	8/4	8/5	▲ 1	8/6	8/7	▲ 1
出穂期(月/日)		8/13	8/15	▲ 2	8/27	8/27	0	8/27	8/27	0
主稈止葉葉位(枚)		12.7	13.0	▲ 0.3	14.6	14.3	0.3	14.7	15.1	▲ 0.4
穂数(本/m <sup>2</sup> )		407	395	3 %	520	425	22 %	514	457	12 %
稈長(cm)		94.4	90.1	4.3	94.8	84.7	10.1	93.6	82.9	10.7
穂長(cm)		19.5	18.7	0.8	18.4	18.2	0.2	19.1	18.9	0.2
成熟期(月/日)		9/17	9/18	▲ 1	10/5	10/5	0	10/3	10/5	▲ 2

注1) コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまいの差は過去5か年平均との比較で示した。

注2) 茎数・穂数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。